

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

クリーニング工場におけるボイラーの更新
による CO2 削減事業

排出削減事業者名：株式会社松屋リネンサプライ

排出削減事業共同実施者名：一般社団法人 低炭素投資促進機構

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	株式会社松屋リネンサプライ
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	株式会社松屋リネンサプライ
住所	〒440-0091 愛知県豊橋市下五井町沖田 126 番地
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

クリーニング工場におけるボイラーの更新による CO2 削減事業（A 重油→LPG）

2.2 排出削減事業の目的

本事業は、クリーニング工場におけるボイラー設備を高効率な設備に更新し、A 重油から低炭素燃料の LPG へエネルギー転換することによって、二酸化炭素削減を図るものである。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既存のボイラー1 台（荏原ボイラ株式会社 A 重油焚きボイラー STE2001KM）を高効率なボイラー1 台（三浦工業株式会社 LPG ボイラー SQ-2500AS）に更新することでエネルギー使用量を削減して CO2 削減を図る。また A 重油よりも単位発熱量当たりの炭素含有量が少ない LPG へ燃料転換することにより CO2 削減を図る。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

変更なし

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2013年3月5日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2015年4月1日 ～ 2018年3月4日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは、株式会社松屋リネンサプライの工場におけるボイラー設備及び、供給設備とそこから蒸気の供給を受ける設備である。

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更あ る場合、) 変更理由
$F_{\text{fuel},I,PJ}$	事業実施後の実績報告期間燃料 使用量	Kg	568,378	毎月燃料供給会社からの請求書を記録し保管する。 (換算係数をかけて $m^3 \rightarrow kg$ へ換算する)	無し
$HV_{\text{fuel},i,PJ}$	事業実施後の燃料の単位発熱量	GJ/ kg	0.0501	デフォルト値を利用 (モニタリング・算定規定 Ver3.2)	無し
ε_{BL}	事業実施前のボイラー効率	%	90.3	カタログ値をもとに算定	無し
ε_{PJ}	事業実施後のボイラー効率	%	90.7	カタログ値をもとに算定	無し
$CO_2F_{\text{fuel},BL}$	事業実施前の燃料の単位発熱量 当たりの二酸化炭素排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0708	デフォルト値を利用 (モニタリング・算定規定 Ver3.2)	無し
$CO_2F_{\text{fuel},i,PJ}$	事業実施後の燃料の単位発熱量 当たりの二酸化炭素排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0601	デフォルト値を利用 (モニタリング・算定規定 Ver3.2)	無し

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
568,378 (kg)	0.0501 (GJ/kg)	0.0601 (tCO2/GJ)	1,711.4 (tCO2)
EM _{PJ}			1,711.4 (tCO2)

6.2 ベースライン排出量

28,601.9 (GJ)		0.0708 (tCO2/GJ)	2,025.0 (tCO2)
EM _{BL}			2,025.0 (tCO2)

6.3 リークージ排出量

LE			0 (tCO2)

6.4 温室効果ガス排出削減量

ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	2,025.0 (tCO2)
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{PJ}	1,711.4 (tCO2)
リークージ排出量 (7.3)	LE	0 (tCO2)
温室効果ガス排出削減量	ER	313 (tCO2)

7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン-実績 (①-②)
737.9	734.7	3.2

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。

$$\text{省エネルギー量} = 737.9 - 734.7 = 3.2 \text{ (kl)}$$

9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 ()			
	単位	エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)